

ズワイガニ

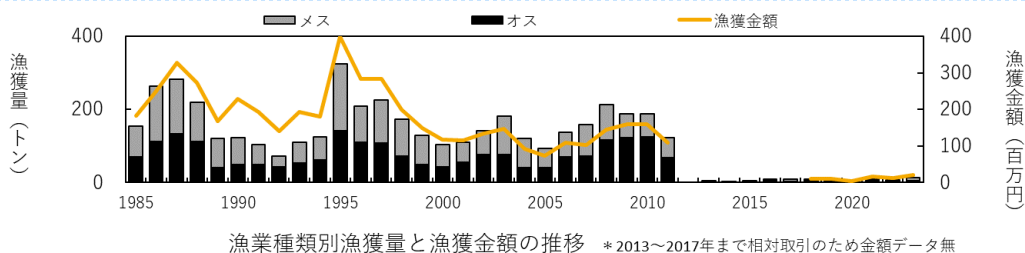
1 生態

- ・日本海、オホーツク海、ベーリング海、アラスカ沿岸、犬吠埼以北の太平洋沿岸に分布します。太平洋北部では水深150～750mに分布し、主な漁場は茨城～金華山沖の水深400～500mです。
- ・オスは甲幅105mm以上、メスは甲幅75mm以上になると全て成熟します。産卵期は冬～春とみられます。甲幅約20mmの個体が漁獲対象となるまでに、オスでは5～6年、メスでは4～5年かかると推測されます。
- ・主に甲殻類、魚類、イカ類、多毛類等の底生生物を食べていると考えられます。



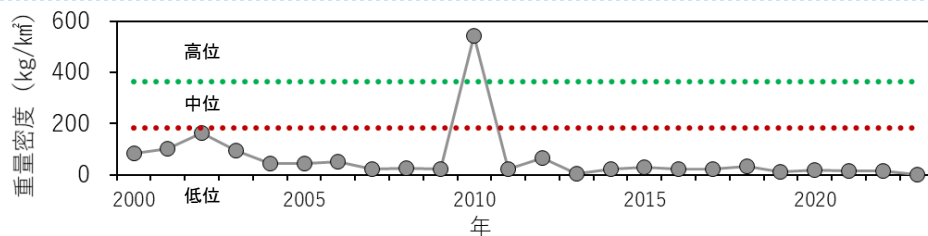
2 漁業に関する情報

- ・底びき網で漁獲されています。
- ・2023年（令和5年）の漁獲量は13トン、金額は20百万円でした。
- ・2011年3月の震災以降、操業自粛により水揚げはありませんでしたが、2013年（平成25年）1月から再開されています。



3 資源の状態

- ・調査船調査によるズワイガニ重量密度は、2010年に543.4 kg/km²と非常に高かったことから、それ以外の年は、資源水準が低位に区分されています。
- ・2023年漁期の資源水準は、低位で減少傾向にあります。
- ・2023年漁期のズワイガニ漁獲は、従来ズワイガニが分布する海域で操業が行われたにも関わらず、漁獲がなかったことから、非常に低い資源水準にあると考えられます。



4 資源管理の取組み

- ・農林水産省令により漁期制限（12月10日～3月31日）と漁獲制限（オス8cm未満、メス未成体の漁獲禁止）が実施されています。
- ・国のTAC（漁獲可能量）制限により、太平洋北部海域の水揚げ量の総量制限が実施されています。
- ・相双漁協相馬原釜地区では自主規制により、1隻1日の水揚げ量が制限されています。